

第5回

青森市民病院



川柳フェスティバル入賞作品

豊木賞



新緑の
トンネル抜けて
かやの茶屋

⑬ 心電図

豊木賞

満開の
つつじや藤に
かくし味
奥山 さち子

お題「初夏」



入選

さくらんぼ
木からぽちっと
口にする
市瀬 広太

入選

せみのこえ
シリシリシリと
きこえるよ
つむつむ

入選

お題「初夏」
シヨッカーですか？と
昭和世代
裕美子

入選

この笑顔
見たくて渡す
カーネーション
さおりん

入選

行きたいな
まわり気にせず
あのお庭(ガーデン)
NOH

入選

朝もやに
もやっと浮かぶ
モヤヒルス
Kさん

入選

海風で
聞こえてくるよ
ピーヒャララ
渡辺 政志

入選

太陽が
1番輝く
季節かな
りっちゃん

たくさんのご応募ありがとうございました！！

主催：青森市民病院広報委員会 (問) 事務局総務課 ☎017-734-2171)

先生 教えて!

今流行っている病

◆手足口病について



青森市民病院小児科部長

市瀬 広太 先生

コロナウイルス感染症がまだ収束していませんが、以前に比べて外来で他のウイルス感染症を診察する機会が増えた印象です。

この夏、アデノウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症などともに手足口病の児を診察する機会が多くなりました。

手足口病はエンテロウイルス（コクサッキーA群ウイルス、コクサッキーB群ウイルス、エコーウイルス）のいずれかが感染ウイルスとされていますが、年々異なり何度も罹患する可能性があります。これらの原因ウイルスは腸管内にも存在しており、3〜4日の潜伏期を経て発症します。

保育施設などで集団発生する事があり 青森市内でも小流行がありました。

このため感染経路としては飛沫感染だけでなく糞口感染があり、予防策としては接触感染を防ぐための手洗いの徹底や排泄物の適切な処理が重要です。(急性期に最もウイルスが排泄されているとされています)

症状としては病名のとおり、おもに口の中と手のひら、足の甲や足の裏に水疱性の発疹が出現しますが、膝、肘、おしりなども含め 全身性に出ることもあります。

好発年齢として、乳幼児の発症例が多いですが、学童や成人でも感染することがあります。

発熱はないこともありますが、通常1〜2日程度続く高熱を合併することが多く、発疹は1週間程度で消失します

多くは重症化せず治癒し、合併症がなく元気であれば登園登校に支障はない(法律の基準はなく各施設のローカルルールに従うことだと思います)ですが、ごくまれに髄膜炎・心筋炎などの合併症を起こすことがあるため油断は禁物です。3日以上の発熱や強い頭痛、嘔吐や強い腹痛を伴う場合は精査が必要となることもありますので、病院を受診することをお勧めします。

青森県の手足口病 定点当たり報告数(保健所別) (2022年)



■ : 警報レベル(開始基準値5、終息基準値2)

(青森県環境保健センターより)

先生 教えて!

◆梅毒について

青森市民病院皮膚科

秋田 尚見 先生

はじめに

梅毒は古くから性病の一つとして知られていますが、近年日本での感染者数が急激に増加しています。とくに20歳代〜30歳代の若い人の間で増加が目立っています。



梅毒トレポネーマの
電子顕微鏡写真
(国立感染症研究所より)

原因

梅毒トレポネーマという病原体が原因です。梅毒トレポネーマは感染者の体液や血液に含まれています。

感染経路

主な感染経路は感染者との性行為です。病原体が粘膜や皮膚の小さな傷に入り込むことによって感染します。妊婦さんが感染すると、胎盤を介して胎児に感染することもあります。

症状

梅毒は発症してからさまざま症状が現れます。感染後約1ヶ月で感染を生じた性器、肛門、

口などにしこりや、ただれができます。股の付け根のリンパ節が腫れることもあります。痛みがないことが多く、気づかない人も多いです。これらの症状は治療をしなくても数週間で自然に消えますが、治ったわけではありません。治療しないで数ヶ月経過すると、病原体が全身に運ばれ、手のひらや足の裏をはじめ、全身にバラ疹と呼ばれる発疹がでたり、脱毛を生じます。さらに長期間が経過すると症状が進んでゴム腫と呼ばれる柔らかい腫瘍が皮膚や体の中にできたり、神経、心臓、脳に障害を起こすことがあります。なお、潜在性梅毒と言って、感染しても何年間も症状が出ない人もいますが、静かに病気が進んでいます。

検査

梅毒の診断には血液中の梅毒トレポネーマに対する抗体の有無を確認する検査を行います。この抗体が血液中に産生されるには感染してから約3週間かかるので、感染の機会から4週間後に検査を行っています。感染者本人だけではなく、パートナーも一緒に検査をすることが必要です。また、梅毒の病変部からHIV（エイズウイルス）も侵入しやすいため、HIV検査もあわせて受けることが望ましいとされています。

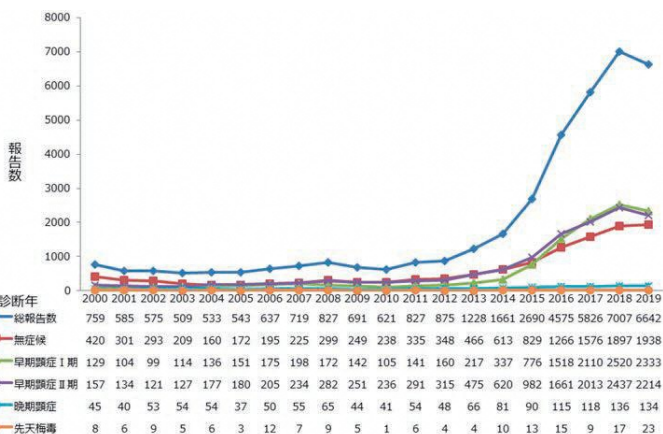
治療

梅毒は自然に治りません。初期の段階であら

ば、抗生物質の内服で完治します。投与期間は症状によりますが、基本は4週間服用です。治療の確認のため梅毒トレポネーマに対する抗体価をチェックするので、複数回の採血が必要となります。本人だけでなくパートナーが感染した場合是一緒に治療します。

予防

感染の多くは性行為によって感染するため、コンドームの使用は予防に有効です。感染者は治療するまで性行為を控えることが大切です。梅毒は一度感染すると一定の抗体はできますが、再感染を予防するわけではないので、治った後でも感染の恐れがあります。



梅毒報告数、2000-2019年

(国立感染症研究所より)

がん相談支援センターのひろば②

がん相談支援センターでは、がんの診断から治療、その後の療養生活、社会への復帰など生活全般にわたって、疑問や不安に対応しています。相談の内容は相談者の同意なくほかの医療者に伝えることはありません。



☆ ピアサポート ☆

『ピアサポート』って皆さんご存じですか？

ピアは「peer」＝仲間・同じような立場の人

サポート「support」＝同じ問題を持つ人同士が支えあう事

ピアサポート＝【同じ経験をした仲間同士で支えあう】

ピアサポートには子育て支援や慢性疾患、依存症、最近では学校教育などでも活用されています。



がんのピアサポートもあります。医療の発展で、がんは「すぐに亡くなる病気」から「共に生きていく病気」に変わっていますが、がんと診断されたときには、いろんなことを考えて不安になるものです。がんを体験した患者や家族同士で悩みや不安を共に考え、支えあうのが、がんのピアサポートです。苦しい状況の経験や気持ちを、同じ立場で話を聞いてくれると、患者さんは“ほっ”とできるそうです。

がんの治療中や治療後の人をがんサバイバーと言います。がんサバイバーの中には、治療生活の工夫やタオル帽子の提供をしてくれる方もいます。がんサバイバーが研修を受けてピアサポーターとなります。ピアサポーターとは患者会や各病院の患者サロンなどで交流ができます。最近はオンラインでの交流も増え、日本全国の患者会へも参加できるようになっています。

当院でも、がんサロンを開催しています。ミニ勉強会も行っていますので、お気軽においでください。






当院がんサロンの様子



がんサロンの
お知らせ

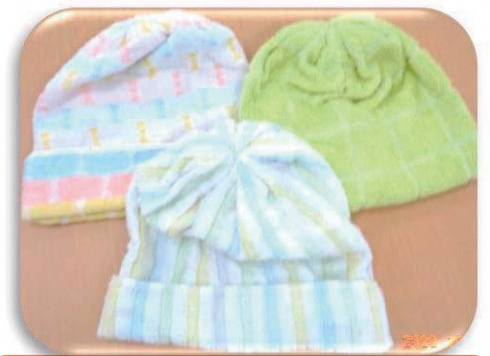
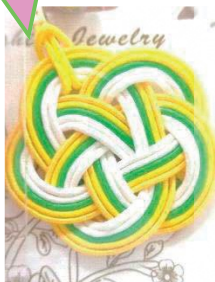
各月で開催しています
ミニ勉強会のテーマ
: 痛みについて
: 胃がんの内視鏡
: 治療中の栄養
: 歯医者さんのお話 など
いろいろ計画中♡
毎回ピアサポーターとの
おしゃべり会も
あります♡♡



御寄付いただきました

感謝!!

水引ストラップ
水引梅結びには厳しい冬を乗り越え、春に先駆けて咲く花「運命向上」の意味があります。治療中の方にエールを送りたいと頂きました。



タオル帽子は
スマイルあっぷる(患者会)
から頂きました

タオル帽子に使用する未使用タオルの寄付も受け付けております

本貸し出し、パンフレットの提供、ウィッグ・ケア帽子
リマンマの見本展示などを行っています

受付時間 月～金曜日(祝日及び年末年始除く)

8時30分～17時

場所 2階 耳鼻咽喉科外来の左側奥
化学療法室向い

いつでもお気軽にご利用ください





当院は(財)日本医療機能
評価機構認定病院です。

理念

私たちは、安全で良質な医療の提供と、みなさまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 中核病院として、地域医療の確保と医療サービスを提供します。
2. 常に患者の立場に立って、患者の話をよく聴き、安全で親切な医療を提供します。
3. 地域医療の発展のため、優れた医療人を育成します。
4. 良質な医療は健全な経営の上に成り立つことを自覚し、病院運営に参加します。

川柳フェスティバル

開催について

ご好評により川柳フェスティバル開催を予定しております。お題・募集期間等は、あらためましてポスター、ホームページ上にてお知らせいたします。今しばらくお待ちください。

市民病院サイネージについて

市民病院では、サイネージにより正面入口では、バスの時刻表・市内医療機関所在地情報など、中央待合ホールでは院内のご案内・お知らせ等を行っています。どうぞご利用ください。



編集後記

広報委員より、このような提案がありました。「なくなる当院の写真を撮って残しては？」

ご存じのように当院は今後、県立中央病院と経営統合して新病院整備します。そうなると、現在の勝田にある病院はなくなります。そうなる前に病院の写真を撮って残しておいたらいいのでは？ということになりました。

ところが、検討したところ、病院は個人情報がいっぱいありますので、院内を撮影することは問題になるのではないかと？病院の建物を撮るときに、道路に出て交通事故になるのではないかと？など、色々心配される意見が出ました。また写真そのものをもっても、経営統合後誰が保管するのか？電子データでホームページにアップするにはコストが相当かかる、など。

非常によい企画だと思いますが、実現が難しいです。なにかよいアイデアはないでしょうか？

広報委員会では不定期に川柳フェスティバルを企画しています。この写真の件でご意見がございましたら、川柳の投句箱に入れていただけないかと考えています。宜しく願います。

和田豊人